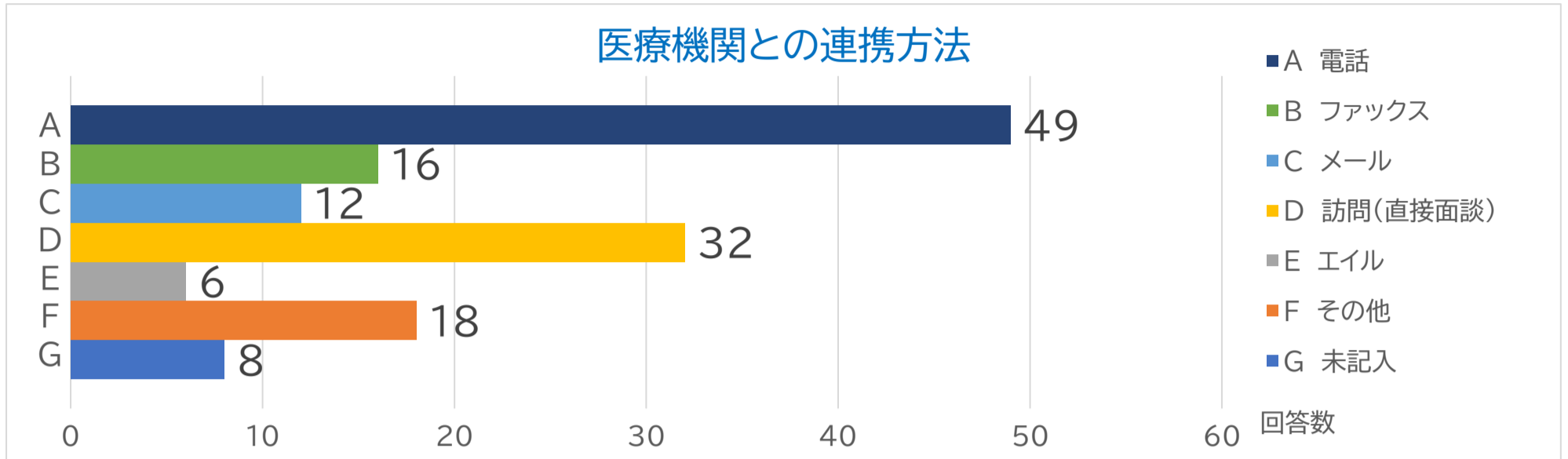


# 新型コロナウイルス感染拡大時の医療介護連携に関するアンケート調査 調査結果(介護保険制度の成果と課題・アンケートから見えて来た課題)

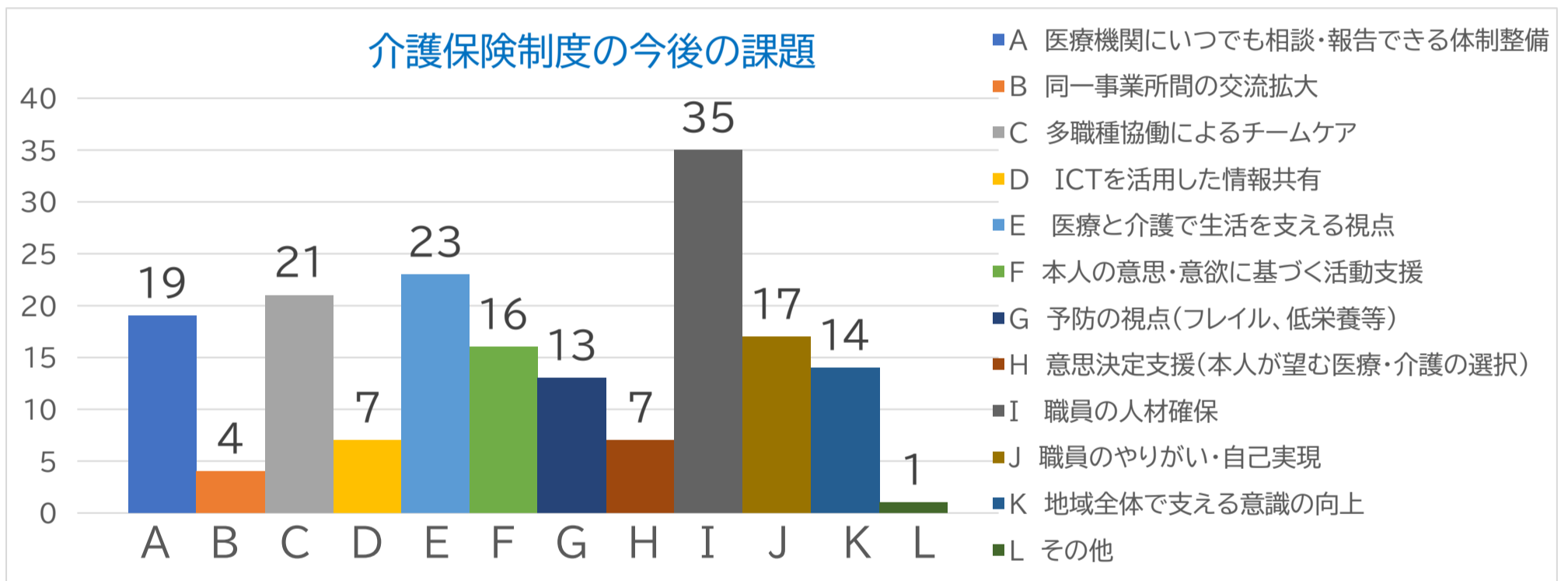
## ④医療機関との連携方法

医療機関との連携方法については、「電話」が最も多く、次いで「訪問(直接面談)」であった。



## ⑤介護保険制度の今後の課題

介護保険制度の今後の課題については、「職員の人材確保」の回答が最も多く、次いで「医療と介護で生活を支える視点」であった。



### 【アンケートを通じて見えてきた課題】

- 1) 訪問、通所系の同一職種間の連携体制を確立する必要がある
- 2) 感染症に関する正確な情報を迅速に共有できるシステムを確立する必要がある
- 3) 感染予防に必要な資材を十分に確保し、有事には速やかに配布できる体制を確立する必要がある
- 4) 営業を継続して良いかを定める判断基準ガイドラインの明確化
- 5) 休業した事業所を利用していた高齢者に対する介護支援体制の検討
- 6) 収入減となった事業所への損失補填や、休業した場合の補償策を検討して廃業する事業者が出ないようにする対策の検討
- 7) 介護職員への危険手当の支給や感染予防のために増加した人的、金銭的な事業所負担に対し、事業所への「新型コロナウイルス対策加算(仮称)」等の制度創設
- 8) 事業所が介護保険制度の最大の課題としている介護人材の確保対策が必要
- 9) 利用者や職員が迅速にPCR検査等を受けられるようまた体調不良の利用者や職員の診療などに対する近隣医療機関の支援体制を確立する必要がある